加子母から広がる 域学連携

19年目を迎える「加子母木匠塾」を中心に、今年度は全 15 校延べ 3000 人近い学生が年間を通して加子母を訪れています。建築、歴 史、伝統行事など、加子母地区全体をフィールドとして地域に溶け 込み、地域の方を先生とし様々な調査や活動を行っています。



土壁を塗る学生

加子母という学びの場

今年で4回目の参加です。建ち上がった製 作物を見て、また、地域の方とお話をして、建 てるという責任がいかに大きなものである のかを学ぶことができました。これも、加子 母という強い結束を持った地域で長い間学 びの場を提供していただいているからこそ だと実感しています。これからも木匠塾をど うぞよろしくお願いします。



品川翔一郎さん (木匠塾 2013 総幹事)



地域の将来について加子母中3年生と ワークショップを行う学生

心の故郷ができました

農家さんや中学生との交流、水無神社秋の 例大祭などに参加しました。例大祭ではお囃 子に参加する機会まで頂きました。地域の方 は私を自分の子どもの様に面倒を見てくださ り有り難かったです。豊かな自然の中で、この ように地域の結束が強まるのだと確信しまし た。私にとっての心の故郷ができました。



日本福祉大学4年 浅井達浩さん



木材活用の調査で聞き取りを行う学生

あう街」を目指

していきます。地域イ

取り組み、「学生が訪れ、

地域とふ

れ

中津川市では、

今後も域学連携に

刈方にメリッ

トとなり、

ます。このことは、地域住民や学生

0

自然が教科書

私は今年の5月から加子母を訪れ、様々な 地域行事にも参加しています。多くの人と多 くの時間を共有する中で、少しずつ少しず つ、地域の方にも自分自身にも変化が現れて きていると感じます。加子母は〈地域全体が キャンパス、地域住民が先生、自然が教科書〉 一本当にそんな学びの場だと感じつつ、これ からも訪れ続けたいと思います。



名古屋工業大学4年 佐野智哉さん

域に「気付き」を促し、「刺激」を与え 参加することで学生は経験を積みま で行われる様々なイベントやボラン 大学のキャンパスを飛び出し、 貝として参加など、学生が中京学院 スになります。 域学連携では、 ア活動など、 ア活動に参加 学生の外からの目線は、 コン「恋なか」に実行委 様々な実践活動に イベントやボラン 市内全体がキャン しています。 イスポーツ」 西太田町で

携の取 一緒にスポー ・ツを楽 の有る



10月27日に健康福祉会館で開催の「エンジョイスポーツ」にボランティアで参加する中京学院大学の学生

大学が地域と密着し、様々な場面で交流・活動して地域 を活性化することの大切さを感じました。域学連携を通し て地域の方々と交流し、その輪を広げ、地域と関わり、自 分を成長させる。中津川市出身の自分にとって、この活動 は良いきっかけとなりました。

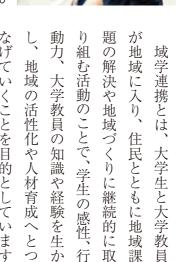
今後もいろいろな活動に参加し、若い力で地域を支え いきたいと思います。

地域との交

小林賢也さん

中京学院大学2年 で地域への波及効果を生み出して 流や研究・実践活動に取り組むこと **建築実習(木匠塾)など、**

全国から多くの学生が加子母に滞在 題の解決や地域づくりに継続的に取 なげていくことを目的としています。 り組む活動のことで、学生の感性、行 が地域に入り、 モデル実証事業の採択を受けました が総務省の「域学連携」地域活力創出 し、公開シンポジウム・ 地域の活性化や人材育成へとつ 大学教員の知識や経験を生か 中学生とのワ 加子母むらづくり協議会 住民とともに地域課 講義・講座 クショップ





中京学院大学との域学連携も活発に

中学校部活動指導

院大学と包括協定を締結し、

域学連

また、今年2月には地元の中京学

5月から、毎週木曜 日に市内中学校へ行 き、部活動の合同練 習を行っています。 また、中津川ジュニ アレスリングクラブ とは、大学内で合同 練習を行っています。



10 月には、大学祭と 六斎市を共同開催し 初めて「まちなか」 で大学祭を開催しま した。加子母産業祭 との共同企画も開催 され、多くのお客様 に楽しんでいただき ました。





市内全体がキャ

ンパス



温かく声をかけてあげてください

市民協働課(☎内線209

ベントなどで学生を見かけましたら、